

2021年7月8日

お客様各位

日本農薬株式会社

農薬登録のご連絡の件

首記の件、下記について登録されましたのでご連絡致します。

記

1. 新規登録 2021年7月7日 (2件)

(1) オーケストラスタークエア―

登録第 24530 号

有効成分：ジテフラン…9.0%
 ヘンズピリフェキサン…10.0%

毒性：毒物劇物に該当せず

危険物区分：―

○適用病害虫の範囲及び使用方法

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジテフランを含む農薬の総使用回数	ヘンズピリフェキサンを含む農薬の総使用回数
稲	ウンカ類	1000倍	60～150 ℓ/10a	収穫7日前 まで	3回以内	散布	4回以内 (育苗箱への処理及び側条施用は合計1回以内、本田での散布、空中散布、無人航空機散布は合計3回以内)	3回以内
	カメシジミ類	8倍	0.8ℓ/10a			無人航空機による散布		

○使用上の注意事項

- ・使用量に合わせ薬液を調製し、使いきること。
- ・使用の際は、薬液をよく攪拌して均一な状態にして使用する。また、希釈する場合は、所定量の水に加えてから十分攪拌する。
- ・無人航空機による散布に使用する場合は次の注意を守ること。
 - ① 散布液調製後はできるだけ速やかに散布すること。
 - ② 散布は各散布機種種の散布基準に従って実施すること。
 - ③ 散布機種種に適合した散布装置を使用すること。
 - ④ 散布中、薬液が漏れないように機体の散布配管その他散布装置の十分な点検を行うこと。
 - ⑤ 散布薬液の飛散によって動植物及び自動車の塗装やカーテンの塗装等へ影響を与えないよう、散布地域の選定に注意し、散布区域内の諸物件に十分留意すること。
 - ⑥ 散布終了後は次の事項を守ること。
 - a. 使用後の空の容器は放置せず、適切に処理すること。
 - b. 機体散布装置は十分洗浄し薬液タンの洗浄廃液は安全な場所に処理すること。
- ・蚕に対して影響を及ぼすおそれがあるので、養蚕で使用する桑葉にかからないようにすること。
- ・本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法等を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

(2) オーケストラロムダンモンカット粉剤 DL

有効成分：テフフェゾト…0.75 %
 ヘンスピリロキサシ…0.50 %
 フルトラニル…2.0 %

毒性：毒物劇物に該当せず

危険物区分：－

○適用病害虫の範囲及び使用方法

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	テフフェゾトを含む農薬の総使用回数	ヘンスピリロキサシを含む農薬の総使用回数	フルトラニルを含む農薬の総使用回数
稲	ウカ類幼虫 コブメイガ ニカメイチュウ イネツムシ 紋枯病	3～4kg /10a	収穫14日前 まで	2回以内	散布	2回以内	3回以内	3回以内 (小包装投入は 1回以内)

○使用上の注意事項

- ・使用量に合わせ秤量し、使いきること。
- ・本剤はできるだけ飛散を少なくするように製剤されており、一般の粉剤に比べ見かけ比重がやや大きく、流動性が良いので、散布の際は散粉機の開度を一目盛程度しぼって散布すること。
- ・本剤はウカ類の成虫を直接殺す作用がないので、幼虫主体の時期に散布するのが望ましい。また、その場合、薬剤散布後も幼虫は直ちに死亡せず、死亡までに数日を要するので十分留意すること。
- ・ウカ類成虫の防除を必要とする場合には、成虫に有効な薬剤と組み合わせて使用すること。
- ・蚕に対して長期間毒性があるので、散布された薬剤が飛散し、桑に付着するおそれのある場所では使用しないこと。
- ・本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法等を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

2. 適用拡大 2021年7月7日付(2件)

(1) パレード20フロアブル

登録第 24071 号

①適用病害虫名の追加:きゅうり/つる枯病(2000倍)

はくさい/苗立枯病(リゾクニア菌)(100倍)、灌注

②使用方法の追加:キャベツ(根朽病)/2000~4000倍、散布

【変更後】

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ピラジフルミドを含む農薬の総使用回数
きゅうり	灰色かび病 菌核病 うどんこ病 褐斑病	2000~ 4000倍	100~300 ℓ/10a	収穫前日 まで	3回以内	散布	3回以内
	つる枯病	2000倍					
はくさい	黒斑病 白斑病	2000~ 4000倍	セル成型育苗トレイ1箱または、 ペーパーポット1冊(約30×60cm、 使用土壌約1.5~4ℓ)当り0.5ℓ	育苗期後半 ~定植当日	1回	灌注	3回以内 (灌注は1回以 内)
	菌核病	100倍					
キャベツ	株腐病		2000~ 4000倍	100~300ℓ/10a	収穫前日 まで	3回以内	
	根朽病	100倍					
	菌核病 苗立枯病 (リゾクニア菌)		セル成型育苗トレイ1箱または、 ペーパーポット1冊(約30×60cm、 使用土壌約1.5~4ℓ)当り0.5ℓ				育苗期後半 ~定植当日

【変更する注意事項】

・キャベツ又ははくさいの苗立枯病に使用する場合、リゾクニア菌による苗立枯病には有効であるが他の病原菌による苗立枯病には効果が劣るので、リゾクニア菌以外による苗立枯病の混発が予想される場合には他の有効な薬剤と組み合わせて使用すること。

(2) パレード15フロアブル

登録第 24072 号

適用病害虫名の追加:おうとう/幼果菌核病(2000倍)

【変更後】

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ピラジフルミドを含む農薬の総使用回数
おうとう	灰星病	2000~3000倍	200~700 ℓ/10a	収穫前日 まで	2回以内	散布	2回以内
	幼果菌核病	2000倍					

* 注意事項の変更はありません。

以上